

老後を明るく楽しく



やさしい家族の心づかいで明るい老後が

9月15日は 敬老の日

めざましい経済成長時代にもかかる
わらすたれ人口の増加や標準化の進
展、あるいは老若を問わず健康的にもぐくまれ
る老人社会構造、今や老人問題は
より、より、より重要な問題へと躍進するに至
る。この度は、ひつりでござる。幸運をも
本市でのひつりでござる。幸運をも
老人、人々が、みんなへと歩みをもむる
人の歩みを多くなれどござります。
この度は、市で全国や世界へと歩みをもむる
行なう機会を設け、多くの老人
が楽しんで、また、また、また、また、また、また、
歩みをもむる。歩みをもむる。歩みをもむる。
そこで、六月十五日の「敬老の日」を
迎えるにあたり、市が現在行なってお
るような老人福祉事業の概要をみてみ
ましょう。

70歳以上の医療費無料

吉川は、医療費を扶助する制度を設けた。高齢者の間には、扶助を受けることの喜びが広がった。しかし、扶助の範囲は、まだ「年金額の三割」となっており、扶助の範囲を広げようとしたが、財政的理由で実現しなかった。そこで、吉川は、扶助の範囲を広げようとしたが、財政的理由で実現しなかった。そこで、吉川は、扶助の範囲を広げようとしたが、財政的理由で実現しなかった。

各種制度の利用を

現在十人の奉仕員がねたきり、派遣の順代わりにして昭和四十四年にも効果があります。

にインターネットと合わせて約三百名のかたを対象の利用者は年々ふえていています。 います。

訪問老人健康
訪問老人健康

十一名のかたが利用されています。
ねがう老人専用の「ねむじ」の
手帳 携帯用記録簿などない成績
診査

老人家庭奉仕員
（派遣）
あてており、関係各方面的住民
をあつめています。
ねむ力以上は腰痛の診断を受けて
いないかたを対象に公費で医療や
現在十人名のなかで利用されて
います。

の運営
ねたまのため、自分で日常の
介護券 ねたきり老人に
看護施設を預託するもので、一晩 います。
からずすこに十数のかなが利用され
老人家庭奉仕員

「市では、民衆養護会会員としての世話を受けている裏で、その世話をうながす特殊ベッドの名を募集しています。」老人福祉は理事の鶴見

貴 与
あがり、また軍事と老人の歴史を
したじのあるあなた。請ねてお召
ねなき老い人を対象に活版すべ
く一月九人づき千枚の限界と
話をしてゐる。平日は吉田の著
書があれ(文庫仕様を無料で貰
ます)。

ています。

ぞくぞくと義援金

惨状の山北町へ

本日十二月三日は、山北町に寄付金を贈呈する。

現地で贈呈式を行なった。

(小田原市人道援助課)

11月1日

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000

100,000



山北町に寄付金を贈呈する

交通安全部計画 きまる

歩行者の事故防止を目標に

昭和51年度は自転車、

運転免許登録者数が、

正しく登録され、

運転免許登録者数が、

小田原市児童生徒 創意工夫展・科学展

とき 9月29日～10月2日

午前9時から午後5時

(10月2日は正午まで)

ただし9月29日は科学展のみ

ところ主 市民会館

小田原市・小田原市教育委員会・南足柄市
市教育委員会・足柄上郡教育事務所・足柄
下郡教育事務所

秋の全国交通安全運動

期間9月22日～10月1日までの10日間

重点目標

- スクールゾーンの設定
- こどもと老人および保護者の交通安全指導の徹底
- 歩行者保護のための安全運転の励行の徹底

小田原市 小田原警察署



一 市議会八月臨時会

助役に莊司忠一氏

莊司 助役

コース	科	目	定員	内 容	講 師	節	書
午前の部	千代紙人形	40	千代紙で作る江戸風俗人形	創作 千代紙人形会 長	木本あさ はる	1	は
	書 道	50	漢字とカタの基礎と応用	清 和 会	山崎八重子	木本み づみ	
午後の部	道 路	30	お点前との基本的理論と実習	萬 千 家	木村宏 静	木村 ひで	
	調 理	40	季節料理いろいろ	科 研 研 究 室	室月静江	木村 ひだ	
夜 の 部	小田原地方史	50	小田原周辺の歴史を時代を通してテーマ別 に学ぶ	小田原地方史研究会	福田由一生 内藤哲也、内藤廣、鈴木正昭、高田 義和、小野寺一郎、石川聰	木村 ひや	
	話し方教室	50	人への評価をもとに話し方、正しい発音の 使いなど話し上手力の基本的技術の実 習会	話しこそばく道場	横井 寛一 木村正人	木村 ひや	
	鑑 評 の 技 術	50	美術作品に關する深い鑑賞実践と鑑評点 評の実習	小田原文化会館	小田原文化会 館	木村 ひや	
	ううけつめの ため	50	ハカタ、セカンドバックなどのううけつ めの実習	門松サツ	ハ シマサツ	木村 ひや	
	手 曲	50	スキミキギ、押綱、レバーバキギなどを 実習	豊丘高等学校	豊丘高 等学校	木村 ひや	
	品 教 室	40	老若男女問わずでもできる手品のうらも て	日本書芸会 合	玉置正治 監修	木村 ひや	
	ペン字 賦	50	手で字をよく書くための基礎と技術の実 習	小田原成人教育センター	鶴見昌子 講師	木村日 子	
	道 路	30	お点前の基本的理論と実習	萬 千 家	木中宗 駿	木村 ひや	
	調 理	40	季節料理のいろいろ	科 研 研 究 室	横井妙子	木村 ひや	



中村錦之助・賀津雄



コミカルタッチで描く痛快錦之助の名演技

10月22日(日) ひる1時 開演 小田原市民会館大ホール
よる5時 小田原市民会館事業協会

入場料 指定席 S=¥2,000 A=¥1,800 B=¥1,500 自由席=¥800
「前売券は、市民会館2階事務所で扱っております。」

あなたの知性を豊かに

9月24・25日成人学校の受付

本町小学校
◇受講資格
市内に在住、在勤する16歳以

健康優良児きまる



第19回市民文化祭参加
あなたも撮ってみませんか!!

第14回小田原市民写真展
11/5~8 市民会館小ホール

- 題 材 自由
 - 応募資格 小田原市、足柄上郡、足柄下郡在住又は在勤者
 - サ イ ズ 半切~全幅までのパネル張(ドライマウント可)白黒及びカラープリント組写真は5枚以内にまとめたもの。
 - 締 切 10月15日

第19回市民文化祭参加

★作品募集

第15回小田原宣伝美術協会展

- 主　題 小田原に關係ある作品・時事作品・自由作品
 - 寸　法 B1版(75×105cm) パネルに水張りのこと。
 - 撤入日時 昭和47年11月14日 12時～6時まで
 - 搬入場所 市民会館2階事業室
 - 開催期間 11月16日～19日まで (9:00AM～6:30PM)
 - 問合せ先 教育委員会社会教育課

第19回市民文化祭のご案内

小田原市、小田原市教育委員会、小田原市文化団体連絡協議会では、第19回

市民文化祭を9月27日から12月3日まで市民会館を主会場に26

種目に付かず、不行なうことにされたり、不行な

（おまかせ）

お待ちしております

9月の市民相談会室ご案内

相談内容	相談者
なんでも相談	(市 勝 要)
○市長の相談	(市 長)
人権擁護相談	(人権擁護委員)
行政苦情相談	(行政相談員)
○法相談	(弁護士)
交通事故相談	(弁護士)
高齢者の職業相談	(高齢者就労支援課)
心配ごと相談	(民生 委員)
登記相談	(司法書士)
市税の相談	(市 稽 計)

と き	時 間
毎日	8時30分～17時 (土曜日の午後と日曜・祝日は休みます)
4日	9時～12時
12日	10時～15時
19日	10時～15時
7日・13日・20日・27日	13時～15時
1日・8日	10時～16時
4日・11日・18日・25日	10時～15時
14日・28日	13時～16時
[16日・23日]	8時30分～12時
15日・25日	8時30分～17時



5月25日-----
印の相談は、予約制です。電話などで前もってご連絡ください。
市の仕事についてのご意見、要望や苦情、生活上の問題など、日
ごろお困りのことについて、毎日相談をお受けしています。
ごみ、し尿、道路、住宅、学校、水道、交通事故のことなど、な
んでもご相談ください。

市民相談室 市役所正面玄関の右側

☎ 22-1111

